

ようへき

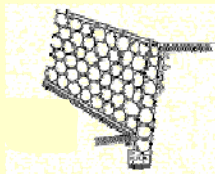
# あなたの擁壁は だいじょうぶですか？

「前の地震でもなんとも無かったし、今どうもなってないからだいじょうぶ」  
なんて思っていないですか？ **擁壁は生きています。**  
今はだいじょうぶだからと言って、将来も安全とは限りません。

## ● こんな擁壁は要注意！！

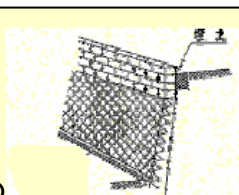
### 空石積み擁壁

玉石、コンクリートブロック等を  
積み上げただけのもの。  
過去の被害事例も多く、  
構造上問題があります



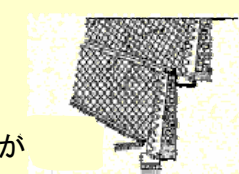
### 増し積み擁壁

既存の擁壁の上に  
コンクリートブロック等を積み、  
盛土したもの  
下段の擁壁に想定以上の  
負荷がかかり危険です



### 二段(多段)擁壁

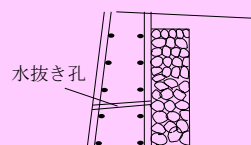
各擁壁が近接していたり、  
基礎の深さが十分でない  
場合、下段の擁壁に負荷が  
かかり危険です



## ● こんな状態は危ない！！

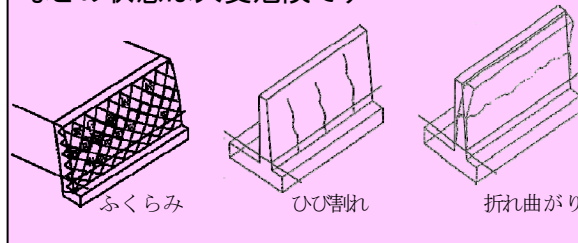
### 水抜き孔が無い又は詰まっている

宅地の雨水や地下水が  
適切に排出されない  
擁壁に想定外の水圧が  
かかり、大変危険です



### ひび割れ、傾斜、ふくらみなど

目地や出隅部分に幅 2cm 程度のひび割れ、  
上下左右のずれがある場合や、  
傾斜により折れ曲がりがあるもの、  
ふくらみがあり、積み石の間にすき間がある  
などの状態は大変危険です



## 日頃からできる注意事項

- ・ 擁壁の高さ以上に土を盛らない
- ・ 擁壁の下側の近接地で大規模な掘削をしない
- ・ 擁壁の上側に、新たな構造物は原則として築造しない
- ・ 宅地内の雨水排水はスムーズに擁壁の反対側へ流す
- ・ 水抜き孔の排水状況やひび割れの変化など定期的に外観のチェックを行い、異常が見つかった場合には安全を確保するための処置を施す  
(特に大雨や地震の後に入念に！)

もし擁壁が崩壊した場合、あなたにはもちろん、周辺にも被害が及ぶ可能性があり、その責任は所有者であるあなたにかかってきます。そうなる前に日頃から十分注意し、擁壁の状況に異常が見られた場合はすぐに専門家に相談し、補修や築造替えを検討してください

◆ **自分の財産は自分で責任を持って守りましょう** ◆

※当該地を第三者へ譲渡する場合は上記の注意事項を承継してください。